

製品名: KMT2A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82741**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000, FC 1:200-1:400
分子量	431kDa

抗原情報

遺伝子名	KMT2A
別名	HRX; MLL; MLL1; TRX1; ALL-1; CXXC7; HTRX1; MLL1A; WDSTS
遺伝子 ID	4297.0
SwissProt ID	Q03164
免疫原	大腸菌で発現したヒト KMT2A (AA:150-400) の精製された組み換え断片。

背景

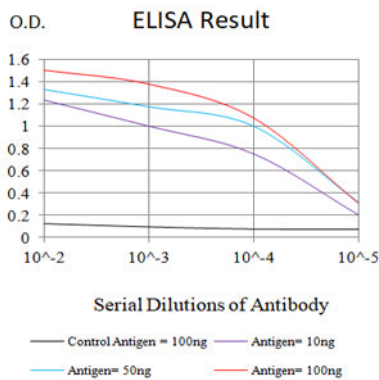
この遺伝子は、初期発生および造血における遺伝子発現の制御に重要な役割を果たす転写共役因子をコードしています。コードされているタンパク質には、複数の保存された機能ドメインが含まれています。これらのドメインの1つである SET ドメインは、ヒスト

ン H3 リジン 4 (H3K4) メチルトランスフェラーゼ活性に関与し、エピジェネティックな転写活性化に関連するクロマチン修飾を媒介します。このタンパク質は、酵素 Taspase 1 によって MLL-C と MLL-N の 2 つの断片に分解されます。これらの断片は再会合し、さらに異なる多タンパク質複合体に組み立てられ、多くの HOX 遺伝子を含む特定の標的遺伝子の転写を制御します。この遺伝子が関与する多重染色体転座は、特定の急性リンパ性白血病および急性骨髄性白血病の原因です。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。

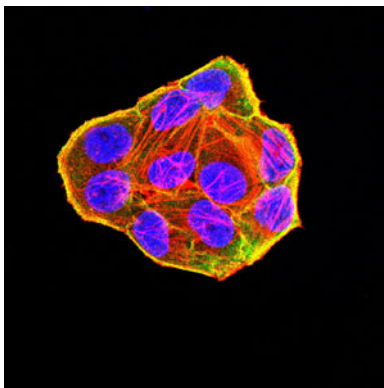
研究分野

アポトーシス

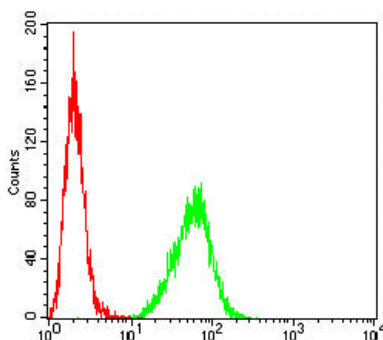
画像データ



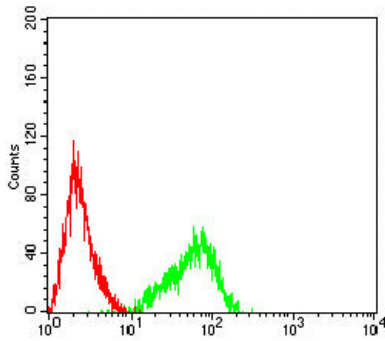
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



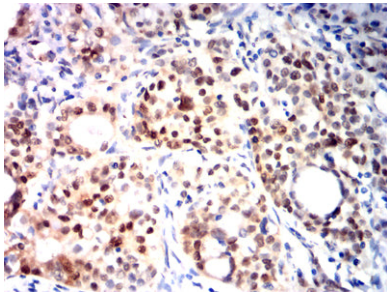
KMT2A マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



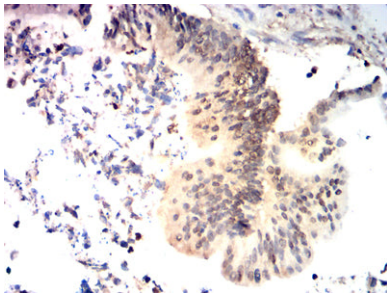
KMT2A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



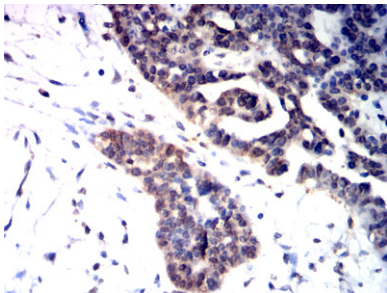
KMT2A マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。



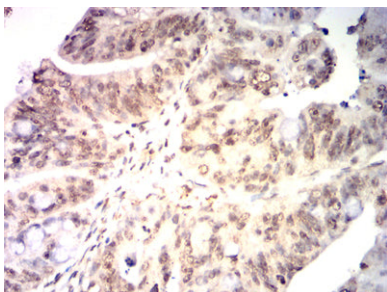
KMT2A マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



KMT2A マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



KMT2A マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



KMT2A マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。